

‘二川宿’が都市景観大賞の表彰を受けました！

6月10日（金）に、東京都の「すまい・るホール」で開催されました「まちづくりと景観を考える全国大会」において、平成28年度都市景観大賞の表彰式が行われ、「都市空間部門」で大賞（国土交通大臣賞）に輝いた「旧東海道二川宿地区」が表彰を受けました。

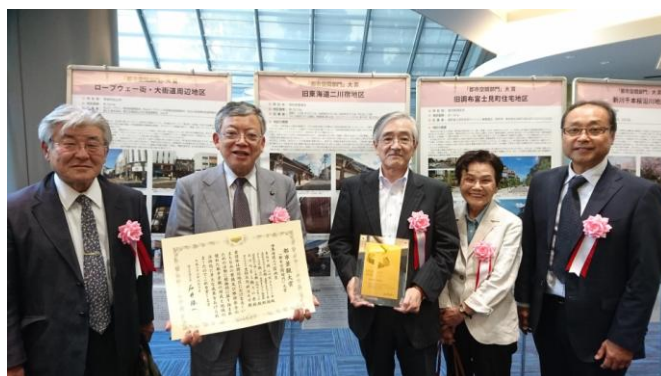
この賞は、二川宿の景観形成に関わった10団体が共同で受賞したもので、代表として佐原光一豊橋市長が登壇し、石井啓一国土交通大臣から表彰状を受け取りました。大会では、表彰式のほか、代表地区の事例発表や隈研吾氏（建築家・東京大学教授）による特別講演も行われました。

■ 都市景観大賞とは

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観形成に向けた取り組みの普及啓発活動の一環として、平成3年度から毎年実施されている表彰制度です。景観に関する優れた地区や活動に対して「大賞」（国土交通大臣賞）、「優秀賞」及び「特別賞」を授与し、さらなる取組の契機につなげ、全国に広く紹介することにより、良好な景観の形成を推進することを目的としています。平成28年度は、「都市空間部門」と「景観まちづくり活動・教育部門」で実施されました。



▲ 表彰式の様子



▲ 表彰式参加者の集合写真

【問い合わせ先】

都市計画課 専門員 夏目 晴広 ☎51-2611

■ 二川宿の受賞について

二川宿では、市、住民、大学の協働で歴史的なまち並み景観整備や文化財整備などを進めてきました。こうした取組みが高く評価され、「都市空間部門」において最高位の大賞（国土交通大臣賞）を受賞しました。

- 受賞地区名 : 旧東海道二川宿地区
- 受賞者 : 二川宿の景観形成に関わった下記 10 団体
 - ①豊橋市
 - ②‘二川宿’まちづくり会
 - ③大岩町東まちづくり会
 - ④大岩中まちづくり会
 - ⑤NPO法人二川宿
 - ⑥二川・大岩まちづくり協議会
 - ⑦岩屋緑地に親しむ会
 - ⑧二川リンケージ
 - ⑨二川つるし飾りの会
 - ⑩国立大学法人 豊橋技術科学大学

■ 審査の評価（抜粋）

- ・「旧東海道二川宿地区」は、重伝建地区のような連続した町並みが残るわけではないが、受け継がれた本陣、旅籠屋、商家などを地域財産として上手に活かし、景観形成を明確な戦略をもちながら官民一体となって推進した素晴らしい成功例である。
- ・住民との合意形成に時間をかけながら、丁寧に景観形成に取り組んでいること、また改修等のデザイン提案についても、都市計画課の職員が自らCGを描いて、住民と直接話す話し合う方式は大変素晴らしい。
- ・本地区の取組は、これまでの重要伝統的建造物保存地区とは異なる、よりゆるやかな歴史的な町並み環境形成に積極的に挑戦しており、特に時間をかけながら行政と住民が一体となって地道に取り組んでいる点は高く評価できる。

■ 表彰式

表彰式は、「まちづくりと景観を考える全国大会」のなかで行われ、豊橋からは豊橋市（市長：佐原光一）、大岩中まちづくり会（会長：横田健）、NPO 法人二川宿（理事長：山本忠義）、二川つるし飾りの会（代表：野田ひさ子）、国立大学法人豊橋技術科学大学（副学長：大貝彰）が参加しました。

- 日時 : 平成 28 年 6 月 10 日（金）13 時 30 分～16 時
- 場所 : すまい・るホール（東京都文京区後楽 住宅金融支援機構本店 1 階）
- 主催 : まちづくり月間全国的行事実行委員会、「都市景観の日」実行委員会

■ 参考：「都市空間部門」の受賞地区一覧

賞の名称	地区名	場所
大賞 (国土交通大臣賞)	越谷レイクタウン地区	埼玉県越谷市
	新川千本桜沿川地区	東京都江戸川区
	旧調布富士見町住宅地区	東京都調布市
	旧東海道二川宿地区	愛知県豊橋市
	ロープウェー街・大街道周辺地区	愛媛県松山市
優秀賞	警固公園周辺地区	福岡県福岡市
特別賞	新蛇田地区	宮城県石巻市

「都市空間部門」総評（審査委員長：陣内秀信）

景観づくりがこれほど豊かで面白いのか、と思わせる素晴らしい成果が本年度は数多く集まった。応募総数はむしろ少なく、やや心配でもあったが、第一次審査で選ばれ現地審査の対象となった6地区のすべてが、現地を訪ねた委員を感動させ、唸らせるほどの成功例であった。長年、国をあげて取り組んできた景観づくりへの努力が大きな実を結ぶ段階にきたことを感じさせる、嬉しい審査会となった。甲乙つけがたい優れた対象ばかりで、しかもスケール、担う主体、手法のどれもタイプの異なる景観づくりへのチャレンジなので、大賞を絞り込むのが極めて難しく、議論の結果、本年度は異例だが、今後の継続的発展への期待も込め、5つの大賞を授与することとした。

大賞を受賞した5地区は、どれも新境地を切り拓くものだった。「越谷レイクタウン地区」は、治水の公共事業を景観に重きを置く地域づくりに結び付けるという発想の転換により、日本離れした大スケールの気持ちのよい水の風景を創造した。「新川千本桜沿川地区」は、大都市の真ん中を流れる河川沿いを舞台に、熱い思いの住民達と経験豊富な行政とのよき協同で実現した美しく居心地の良い水辺空間で、全国のモデルとなる。「旧東海道二川宿地区」は、重伝建地区のような連続した町並みが残るわけではないが、受け継がれた本陣、旅籠屋、商家などを地域財産として上手に活かし、景観形成を明確な戦略をもちながら官民一体となって推進した素晴らしい成功例である。

「旧調布富士見町住宅地区」は、近年、大きな課題となっている団地建替を見事に成し遂げた事例で、住棟群の配置を根本的に変え、中央軸となる素敵なコミュニティ街路を生み出し、美しい景観を創造。その卓抜なるアイデアと実現への努力は高く評価される。「ロープウェー街・大街道周辺地区」は、空き店舗が増えて寂れた商店街を、「まちづくりガイドライン」にもとづき、街路、建物外観、看板などの総合的な景観のマネージメントを成功させ、賑わいが復活した。手づくり的な景観・街づくりの手本と言える。

優秀賞の「警固公園周辺地区」は、危険ゾーンだった場所を、既存の要素を活かしつつ見違えるような魅力ある公園に転換した価値ある成功例で、限りなく大賞に近い業績である。また、東日本大震災の復興のもとで取り組まれた空間づくりの優れた成果である石巻市の「新蛇田地区」に対し、その努力を評価し特別賞が与えられた。

このように本年度は、レベルの高い優れた成果が集結した年だったが、実は、応募申請書の内容だけでは、その価値、魅力が十分に理解できないものも少なからずあった。今後に向け、申請書の書き方への工夫を望みたい。

「大賞」(国土交通大臣賞)

■地区名：旧東海道二川宿地区

■面積：約 35.5 ha

■所在地：愛知県豊橋市

■応募者：豊橋市、'二川宿'まちづくり会、大岩町東まちづくり会、大岩中まちづくり会、NPO法人 二川宿、二川・大岩まちづくり協議会、岩屋緑地に親しむ会、二川リンケージ、二川つるし飾りの会、国立大学法人 豊橋技術科学大学

■地区の概要：

二川宿は、旧東海道 33 番目の宿場町で、今でも当時の町割りや本陣などの歴史的建造物が残っている。しかし、切妻平入りの家々が建ち並ぶ伝統的なまち並み景観は大きく失われ、人の繋がりやまちの活気も薄れつつあった。伝統的建造物群保存地区に選定されるには至らない、どこにもでもあるような古いまちで、いかにまち並みを再生し、活気を取り戻すかが課題であった。

市は、昭和 58 年から宿場町の環境整備調査を実施し、宿駅遺構である本陣、旅籠屋、商家を文化財として順次整備し、平成 18 年からは住民と協働によるまち並み景観形成に取り組み出した。一方、地域住民は、様々な団体がまちの魅力向上や、まちの活性化に寄与する活動を、相互に連携しながら進めてきた。この様に、残された 3 つの宿駅遺構を景観の核とし、無理のない景観形成基準を官民で共有し、丁寧な取り組みを継続して進めてきた長年の取り組みにより、旧街道のまち並み景観や瀬古道の路地空間が再生され、更には、住民による花の飾り付けなどが彩りを添え、宿場町の風情が高まっている。

まち並み景観の再生がきっかけとなり、地域イベント等の住民活動も年々広がりをもたせ、まちに活気が戻りつつある。また、住民のまちに対する誇りが増し、外部の人からも選ばれるまちになってきたが、まだまだ再生途上であるため、今後も住民と行政のさらなる取り組みを進めていく。

■審査講評：

豊橋市は、すでに昭和 58 年から二川宿の歴史的資源の調査をはじめ、これまでに本陣、旅籠屋「清明屋」、商家「駒家」の復原工事を行い、一般公開をしてきた。平成 19 年には延長 1.5km にわたる旧宿場町のほぼ半分を景観条例に基づく「二川宿景観形成地区」に指定し、沿道の建物や工作物等のデザイン誘導をはかってきた。平成 22 年、27 年にはさらに地区を拡大し、現在ではほぼ地区の 8 割が指定されている。その結果、36 件の物件に助成金が出され、まち並み環境は大きく変わってきた。住民との合意形成に時間をかけながら、丁寧に景観形成に取り組んでいること、また改修等のデザイン提案についても、都市計画課の職員が自ら CG を描いて、住民と直接話す話し合う方式は大変素晴らしい。

一方、関係住民団体や NPO も 8 団体あり、「大名行列」や「灯籠で飾ろう二川宿」等のイベント、さらにつるし飾りや一輪挿し等、歴史的な街並みにアクセントを与えている。

本地区の取組は、これまでの重要伝統的建造物保存地区とは異なる、よりゆるやかな歴史的な町並み環境形成に積極的に挑戦しており、特に時間をかけながら行政と住民が一体となって地道に取り組んでいる点は高く評価できる。(卯月)



二川宿の旧東海道沿いの眺め。二川宿は、本陣、旅籠屋、商家の 3 か所を見学できる日本で唯一の宿場町である。左の建物は豊橋市指定有形文化財商家「駒屋」。



商家「駒屋」の広場でおこなわれたイベントの様子。自由に入りにできる「駒屋」の敷地は、土蔵や板塀で囲われ、心地よい空間になっている。



商家「駒屋」の横にある瀬古道(せこみち)の眺め。市の文化財整備(右)と住民の景観整備(左)が一体となって趣のある景観が形成された。



二川宿の夏の風物詩になってきた「灯籠で飾ろう二川宿」の様子。沿線に約 3 千個の灯籠が並び、幻想的なまち並み景観が生まれる。

受賞者の概要

二川宿では、行政や住民団体、大学がそれぞれの立場や専門性を活かしながら旧宿場町の風情ある景観形成に協働で取り組んでいます。今回はこうした取り組みの成果が評価され、10 団体共同の受賞となりました。

区分	受賞者（代表者氏名）	活動概要
行政	豊橋市 (市長：佐原光一)	<ul style="list-style-type: none"> ・宿場町の歴史的環境調査 ・本陣、旅籠屋、商家の文化財整備 ・道路、公園、サインの整備 ・二川宿景観形成地区の指定と整備計画策定 ・住民のまちづくり活動支援
住民団体	‘二川宿’まちづくり会 (会長：山本剛生)	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成に関する住民協定の締結 ・まち並み景観整備（建物等の修景） ・旧街道沿いへの花や灯籠等の飾り付け ・旧街道沿いでのイベント等の開催 ・二川宿まち並み通信の発行
	大岩町東まちづくり会 (会長：白井満春)	
	大岩中まちづくり会 (会長：横田健)	
	NPO 法人二川宿 (理事長：山本忠義)	<ul style="list-style-type: none"> ・商家「駒屋」の指定管理者 ・文化財空間を活用したイベントの開催 ・まち並み景観のボランティアガイド
	二川・大岩まちづくり協議会 (会長：大河英一)	<ul style="list-style-type: none"> ・「灯籠で飾ろう二川宿」の企画 ・景観形成活動への働きかけ ・まち並み保全のための防災まちづくり
	岩屋緑地に親しむ会 (会長：西川収示)	<ul style="list-style-type: none"> ・「灯籠で飾ろう二川宿」の支援 ・本陣等への新春を彩る門松の設置 ・里山保全、環境教育
	二川リンケージ (代表：菰田宏隆)	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家保全活動、勉強会 ・旧街道の清掃イベント ・食にまつわるイベントの実施
	二川つるし飾りの会 (代表：野田ひさ子)	<ul style="list-style-type: none"> ・つるし飾りの製作と季節を彩る旧街道沿いへの飾り付け
大学	国立大学法人 豊橋技術科学大学 (学長：大西隆)	<ul style="list-style-type: none"> ・宿場町の歴史的環境調査 ・まち並み保全のための防災まちづくり調査 ・景観に関する住民協定づくりへの支援 ・文化財の復原活用調査と工事監修